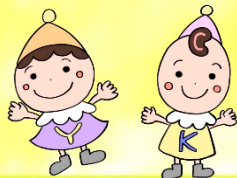


## センターだより は ぐ む

夢と志を持ち、未来を創るよっかいちのこども



四日市市幼児教育センターHP

連絡先 059-333-6002

## 遊びがこどもたちの未来をつくる

### ～紡ぎ出すこどもの世界～

一人ひとりの「あそび」が「まなび」の未来をひらく

『四日市市就学前教育・保育カリキュラム 実践版』発刊にあたって

令和7年度、「四日市市こども計画」が公表されました。

その中で、幼児教育センターは皆様の資質向上と人材育成の拠点として位置づけられています。保育者自身が心身ともに満たされることで、こどもたちに「安心と挑戦の循環」が生まれます。私たちは、先生方の専門性に寄り添うパートナーでありたいと願っています。

昨年度、多くの施設から実践にかかわる写真をご提供いただき、ありがとうございました。皆様の現場の熱量が形になりました。

今回の掲載では、一昨年度発刊し、保育者の皆様に一冊ずつ配布させていただいた「四日市市就学前教育・保育カリキュラム 活用版」をもとに、

実践を重ねていただいた一部の紹介にとどまっていますが、四日市市内のすべての施設において、こどもの世界を再発見する実践が積み重ねられていることと思います。各施設への複数冊配布に加え、公立小中学校へも1冊ずつ配布しました。

実践版では、写真を通して「四日市市就学前教育・保育カリキュラム」の「すこやか」「つながり」「まなびのめばえ」の視点が、実際の現場でどう芽吹いているかを解説しています。職員会議や休憩時間に、一人の保育者が抱え込むのではなく、みんなで「この子のこの瞬間、素敵だね」と語り合うきっかけにしてください。また、園内でもクラスのこどもたちの姿に通じる遊びや活動を共有したり、写真をとったりし、「私の施設」での実践版を増やしていくきっかけにいただければと思います。また、センターアドバイザー、コーディネーターにもお話しいただき、一緒に伴走支援させていただきたいと思っています。

実践版では、0歳児からの主体性の育ちを写真文で構成し、乳幼児期の遊びの中で、こどもがどのように試行錯誤し、世界を広げているのか、そのプロセスを大切にすることを共有したいと思っています。小・中学校の教職員にも就学前の豊かな学びの理解を深め、円滑な接続を目指していきたいと思っています。

一人ひとりのこどものあそびが、小学校の学びへつながる。そのプロセスを積み上げ、教育・保育の質を共に高めていきましょう。



活用版

## 今月のおすすめ図書1

### 『最後まで大変と思わないうれしい保育 —夕方保育・預かり保育の質が高まる』



(編著：宮里 暁美、渡邊 英則 ほか / 著：無藤 隆、汐見 稔幸 ほか / 出版社：風鳴舎 / 2026年4月刊)

一日の終わりの時間を「大変な時間」から「豊かな時間（風の時間）」へ。保育者のウェルビーイングを大切にしながら、こどもが安心して過ごせる環境づくりを提案しています。「保育者のウェルビーイング」と「こどもの安心感」がどうつながるか、現場の視点で書かれています。

## 今月のおすすめ図書2

### 『これからの幼保小の架け橋プログラム —越境する実践、溶け合い高め合う専門性』



(編著：無藤 隆、古賀 松香、岸野 麻衣、吉永 安里 / 出版社：明石書店 / 2026年3月刊)

無藤先生が「越境（境界を越えてつながること）」をキーワードに、架け橋プログラムの最新の成果をまとめた決定版です。好事例の形だけを真似るのではなく、自分たちの地域の特性に合わせた「持続可能な仕組み」をどう作るか、そのプロセスが丁寧に描かれています。「園校種を超えた学びあい」を具体化するための、最強のガイドブックです。

## 今月のおすすめ図書3

### 『教えて！ マメ先生 0・1・2歳児保育をアップデートする11のアプローチ』

(著：大豆生田 啓友 / 出版社：Gakken / 2026年4月刊)



「はじめの100か月の育ちビジョン」に基づき、0歳児からの育ちと学びの一貫性をどう支えるかを解説。マンガや事例を交え、従来の保育を現代版にアップデートする視点が満載です。